

えべつの未来づくりミーティング

～ 江別身体障害者福祉協会編 ～

令和4年7月27日（水） 江別市民会館2階21号室

午前10時～午後0時

1 江別市の「強み」「弱み」は

・強みは、札幌市に近いベッドタウンであること。それ以外で何があるのかと考えると、なかなか思い浮かばない。観光も、江別市はレンガのまちと言われているが、レンガを展示している施設などの観光スポットは、公共交通機関で行ける場所がない。札幌市に住んでいる時に結婚し、子どもが生まれて、一軒家が欲しくて江別市に引っ越して来た。大麻地区と豊幌地区とどちらにするか迷って、子どもを育てる環境の良さとして豊幌地区を選んだ。小学校があったが、将来は中学校もできずよ、ショッピングセンターもできずよと聞いていたが、実際はそうっていない。箱（施設）ができると人は増えると思うので、予算はかかると思うが、理想的なのは、江別市全体を見ながら開発していくことだと思う。豊幌地区にはデマンド型交通があるが、年会費がかかる。市営バスのような気軽に利用できる交通手段があれば、もっと住みやすくなり、強みになるのではないだろうか。



・野幌の原始林、石狩川、農業と住宅地のバランスなど、環境が良いことが強み。野菜が買える大規模な直売所も三つある。また、大学が多く、産学連携が行われており、町村農場や小林牧場のように、自分たちでいろいろな加工品をつくっているところもある。弱みは、移動手段。歩行困難者にとっては、デマンド型交通を利用しても、降車地点から目的地までの移動や乗り換えが難しい。雪については、降るのが当たり前なので仕方がないと思って、覚悟して住んでいる。以前、除雪の仕事をしていた経験から言わせてもらうと、歩道にある植樹帯は景観は良いが、除雪の際には支障になる。



・強みは、ブロッコリーや小麦が有名なことだが、もっとPRすれば良いと思う。また、大学があることも強み。弱みは、観光地があまりないことや、バスの便数が少ないこと。雪が多いことも弱み。自分が住んでいる地域は高齢者が多く、バスの本数が少ないので、タクシーで病院に行っている人が多い。



・札幌市に隣接していることは強みだが、江別市の独自性を発揮するには、弱みになっている。観光地は少ないが住みやすく、住んでもらえば良さが分かる。住みやすい理由を考えると、石狩平野の中央の平地で、気候もある程度安定しており、人口規模の割には保育園や学校、公民館などが多い。ただ、この人口12万人弱のまちの中でも、きめ細やかな交通網や道路網の整備が弱いと思っている。除排雪は予算もかかることなので、市民の考えを伺いながら、対処していくしかない。また、江別市についての発信が遠慮がちだと思う。もっと発信力を高めてほしい。

・強みは、住みやすいまちであること。大麻地区に転入してきたが、同世代でも江別市に家を建てようとしている人が多く、「江別市って、住んでみてどう？」と聞かれることがある。まちがコンパクトで、ある程度のもものが揃っていて、比較的大きな規模の公園もあり、子どもを育てるには良い環境だと感じている。ただ、自家用車ありきのところがあるので、年代や地域によっては、住みづらいつ感じている人もいと思う。移動面の支援が必要だと思う。

- ・最近、YouTubeに江別市の映像が出ているのでよく見ているが、にぎわいを失ったJR江別駅周辺の映像が出てくる。イメージが悪いと思うので、JR江別駅周辺に活気を取り戻してほしい。
- ・生活しやすいまちという観点からすると、市の財政を豊かにしていくには、観光ではなく、市民が働ける場所が江別市内にたくさんあることが大事だと思う。大きな資本を持つ企業が江別市内に入ってくるのが望ましい。

2 身近な生活で不便に思うこと

- ・豊幌地区も今年の大雪はすごかった。JR豊幌駅まで歩くことも大変だった。夜中から明け方にドカ雪が降り、除雪車も来ることができず、高齢になった身体障がい者としては、間口の除雪が大変だった。車庫の屋根の雪下ろしも、今回は自分たちでできず、業者に頼んだので費用がかかった。若い時は自分で対処したが、今は難しい。ひとり暮らしの高齢者に対しては、自治会と連携して除排雪の支援をすることが必要なのではないだろうか。



- ・大きな道路の除雪は、業者によって除排雪のやり方が変わるので違いが出るが、特別困ったことはない。市街地で行われている福祉除雪（間口除雪）が、農村地区でも適用されたら良いと思う。
- ・公共交通機関や店などが、野幌地区に集中している。江別地区にある自宅からは、野菜の産直所も離れており、病院もない。バスの便数が増えたら良いと思う。南大通りにできた橋を通るバスがあると良い。
- ・当協会の行事などに参加する時、福祉バスがなくなったことが大きい。視覚障がい者や、車椅子を利用している方は、福祉バスで移動する方が安全だと思う。大雪の時だけでなく、日常生活でも、声を掛け合える

関係ができている人は良いが、そうでない人は大変だと思う。声を掛け合えて、安心して生活できる環境をつくっていくことが大事だと思う。

- ・介護施設利用者の送迎の仕事をしているが、除雪されていない家に行くと、車を家の前に停めることができず、まず自分たちで除雪をして、車椅子の方を迎え入れることになり、時間がかかることがある。このような状況は今後増えていくと思う。道路も、自分が住み始めた当初はきれいだったが、今では陥没していたり、マンホールのふたが上がったり下がったりしているところがあり、雨水が流れずに溜まることもある。自治会からも修理の要望はしているが、車椅子の方の移動にも配慮しなければならないので、早急な補修が必要だと思う。

3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

- ・産業分野で考えると、大学にいる間に起業する人もいるので、起業しやすいしくみや場所があれば、人口減少の抑制や産業振興が進み、高齢化率も下がるのではないだろうか。また、豊幌地区には病院がないが、保育園もない。保育園ができれば、子育て世帯も増えるのではないかと思う。生涯学習については、大学がたくさんあるので、高齢者が学べる機会が増えるといいと思う。オンラインも普及しているので、デジタル化も力を入れたらどうだろうか。小学校もプログラミングの授業があるようなので、プログラミングの教室を開催するなど。また、観光スポットを巡回するバスがあれば、観光客も増えるのではないだろうか。あと、JR江別駅周辺を活気づけることが必要だと思う。JR駅が近いので、福祉に力を入れた地域のような位置づけにしてはどうだろうか。



- ・学校選択制は反対。なぜかという、農村地区では、学校が地域の中心的位置づけであったが、学校選択制の導入以降、地元の小学校に通う児童が減り、小学校がなくなって、農村地区の過疎化が進むきっかけとなっている。学校選択制を無くすことは難しいと思うが、考えてほしい。
- ・産業分野では、企業誘致が最も効果的だと思う。
- ・元気なお年寄りが再就職という形で、子育てや介護の関係職にもっと参加できるようになったら良いと思う。無償のボランティアばかりでは続かない。サポートが必要な人が増えていく中、今の介護保険制度の形を変えないでやっていくことは難しいと思う。まず、介護保険制度を研究して、地域の方で支えるため、元気なお年寄りが参加できる体制ができれば良いと思う。小中学校から、水泳、スキー、裁縫などを学校で教える際に、地域の方に協力してもらえないかという案内が来る。同じように、子育てについても、経験のある高齢者が関われるようになっていけば良いと思う。
- ・人口減少を抑えるために、他市から転入してくる状況を、なるべく長く続けていくことが大事だと思う。江別市内の子どもたちが、江別市で生活していきたいと思える魅力を増やすことが必要で、大学を卒業した後に、江別市内で働きたいと思えるような、魅力ある職場をもっと増やすことが必要だと思う。
- ・コロナ禍となり、在宅ワークが増えているが、VRやアバターで仕事をしたり、打ち合わせをしたり、コミュニケーションをとることが普及すると、障がい者も参加しやすくなり、仕事に結びつくこともあると思う。あと、マイナンバーカードの普及も、高齢者に対してもっとサポートしてあげた方が良いと思う。

